

委員会における主な検討事項(予定)

【資料3】

1. 構造躯体等の耐震安全性の確保

- 低層木造建築物の被害
 - ・新旧耐震建築物の被害調査(～S56.5、S56.6～H12.5、H12.6～)、原因分析
 - ・認定長期優良住宅、耐震等級2・3を取得した住宅の被害調査、原因分析
- 煙突の被害
 - ・煙突の倒壊、損傷被害の原因分析
 - ・倒壊した煙突と類似の煙突に関する全国調査の実施

※その他構造については、個別の被災建築物について原因分析

2. 建築物の使用継続性、復旧・復興容易性等

- 免震建築物の被害
 - ・免震建築物の被害の原因分析
- 非構造部材の被害
 - ・天井、建築設備など非構造部材の被害の原因分析

スケジュール(現時点の見込み)

- 第1回 令和8年8月31日 これまでの調査結果を整理し、本委員会における検討事項及び分析方針を確認
※各検討事項について、必要に応じてWGを設置し詳細な検討・分析を進める。
- 第2回 令和8年12月頃 その時点までの被害状況の分析結果等を確認
- 第3回 令和8年度内 検討結果をとりまとめ
- ※委員会の開催時期、回数については、調査・分析の状況により変更することがある。